

池上曾根遺跡史跡指定45周年

池上曾根史跡公園開園20周年

大阪府立弥生文化博物館開館30周年記念



Spring & Summer Special Exhibition 2021

Museum of Yayoi Culture

豊後呼と出会う博物館
大阪府立弥生文化博物館
Museum of Yayoi Culture
指定管理者：大阪府文化財センター・近鉄ビルサービスグループ

繁栄の

令和3年度 春夏季企画展

Spring & Summer
Special Exhibition

池上曾根

拠点集落としての姿

遺跡

2021.4.27(火) - 9.12(日)

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 毎週月曜日(ただし5月3日、8月9日は開館)、5月6日(木)、8月10日(火)
入館料 一般430円/65歳以上・高大生330円
●中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料
●20名以上の団体は団体割引料金

□主催：大阪府立弥生文化博物館・和泉市教育委員会・泉大津市教育委員会
□後援：和泉市・泉大津市
□協力：和泉市文化財活性化推進実行委員会



Museum of Yayoi Culture / Spring & Summer Special Exhibition 2021

和泉市と泉大津市に広がる池上曽根遺跡。弥生時代の大環濠集落として、泉州北部を代表する物流・生産拠点として繁栄しました。地域の祭祀センターでもあったと考えられます。最盛期の中期後半には中心に巨大な建物がそびえたち、その南面には直径2mを超えるクヌギをくり抜いた井戸枿をもつ大井戸が存在し、集落のシンボルとして威容を誇っていました。しかし、弥生時代後期に規模を縮小し、遺跡は長い眠りにつきます。

そして、2000年後。明治時代に地元の少年が自宅の土堀のなかから石鏃をみつけたことで現在に目覚めます。第一阪和国道（現国道26号）の建設などにもなう大規模な発掘調査がおこなわれ、当時の繁栄を裏付ける多くの成果が上がっています。

遺跡の保存運動が大きな高まりをみせるなか、1976（昭和51）年、遺跡の中心約10・8万㎡が国の史跡に指定されました（追加指定があり現在は11・5万㎡）。1991（平成3）年に隣接して開館した大阪府立弥生文化博物館は、全国唯一の弥生文化の専門館であり、池上曽根遺跡のサイトミュージアムでもあります。さらに史跡整備も進められ、「いずみの高殿」「やよいの大井戸」を復元。2001（平成13）年に公園として正式オープンいたしました。

そして、今年。池上曽根遺跡は史跡指定45周年、池上曽根史跡公園は開園20周年、弥生文化博物館は開館30周年を迎えます。また、3月には遺跡の保存活用計画が新たに策定されました。池上曽根遺跡の新しい歩みが始まります。

プロローグ／和泉の弥生文化のはじまり

- I 拠点集落の姿 ～人びとのくらし～
 - II 生産と流通 ～つくれるもの、はこばれるもの～
 - III もうひとつの拠点集落 ～四ツ池遺跡～
- エピローグ／移りゆく風景



▲ 池上曽根遺跡 弥生時代前期の土器（弥生博）



復元されたいずみの高殿・やよいの大井戸（和泉市）▶

考古学セミナー（講演会）

- 時間：午後2時から午後4時
- 参加費：無料（入館料は必要です）
- 定員：各回ともホール70名、サロンでのモニター中継30名の計100名（往復はがき等による事前申込み制、午後1時より整理券配付・受付、午後1時30分より開場）

- ◆第1回 5月5日（水・祝）ミニシンポジウム「弥生神殿」と「弥生都市論」
秋山浩三（当館 副館長）池上曽根・大形建物の現地復原をめぐる
禰亘田佳男（当館 館長）池上曽根遺跡と弥生都市論
コーディネータ：三好孝一（当館 学芸課長）
- ◆第2回 5月22日（土）三好孝一（当館 学芸課長）
和泉の弥生文化のはじまり
- ◆第3回 6月19日（土）奥野美和（泉大津市教育委員会）
池上曽根遺跡の繁栄と交流
- ◆第4回 7月17日（土）千葉太郎（和泉市教育委員会）
弥生時代後期の和泉
- ◆第5回 8月21日（土）樋口吉文氏（元堺市教育委員会）
四ツ池遺跡と池上曽根遺跡をめぐる



▲ 池上曽根遺跡 ササカイト埋納遺構の出土品（和泉市）



▲ 観音寺山遺跡 鉄器（同志社大学）



▲ 池上曽根遺跡 絵画土器（弥生博）



▲ 四ツ池遺跡 弥生土器（弥生博）

1階ホールにて展示担当者が見どころを解説します。各回、午前、午後とも同内容です。

- 展示担当者による
展示解説
入退場自由
- 5月15日（土）・5月29日（土）・6月12日（土）・6月26日（土）
7月10日（土）・7月24日（土）・8月14日（土）・8月28日（土）
 - 時間：午前11時から、午後2時から2回（それぞれ1時間程度）
 - 参加費：無料（入館料は必要です）
 - 定員：各回とも70名（10分前に開場、先着順）

■講演会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため以下の対策をおこないます

- 定員をホール70名、サロンでのモニター中継30名の計100名といたします。
- 往復はがき等による事前申込み制とします。より多くの方にご参加いただくために各回別に個人で募集します。
- 往復はがき往信に氏名、住所、電話番号、希望する講演会名を明記の上、返信にご自分の宛名をご記入ください（消せるボールペンは使用しないでください）。ご来館され、所定の用紙に記入いただく方法もございます。この場合、返信のはがきはご用意ください。電話・ファックス・メールでの受付はいたしません。
- 応募が100名を超えた場合は抽選といたします。返信はがきにて結果をお知らせいたします（締切日後にお送りします）。
- 講演会当日は返信はがきをお持ちください。
- 当日混雑を避けるため、整理券を配付します。整理券配付・受付は午後1時より、開場は午後1時30分よりおこないます。
- 当日定員に余裕があった場合でも事前申込みのない方は聴講できません。
- 参加にあたってはマスクの用意、着用をお願いいたします。

応募締め切り

- 第1回：4月20日（火）必着
- 第2回：5月7日（金）必着
- 第3回：6月4日（金）必着
- 第4回：7月2日（金）必着
- 第5回：8月6日（金）必着

■入館時注意事項

- ※ 状況の変化により内容に変更が生ずることがあります。変更があった場合、博物館ホームページでお知らせいたします。ご確認をお願いいたします。
- ※ 入館時は必ずマスクを着用してください。
- ※ 入館時に検温を求められる場合がございます。
- ※ 混雑を避けるため、入場制限をおこなう場合がございます。
- ※ 当館の最新情報はホームページをご覧ください。



ACCESS

- JR阪和線「信太山」駅下車西へ約600m
南海本線「松ノ浜」駅下車東へ約1,500m
- 【大阪方面からお越しの場合】
JR天王寺駅から和歌山方面行（阪和線）快速電車にご乗車になり、鳳（おおとり）駅で普通電車にお乗換えください。一部は、鳳駅まで快速、その後各駅に止まる「区間快速」もあります（くわしくは時刻表をご確認ください）。大阪駅からお越しの場合は、「関西・紀州路快速」をご利用になると便利です。鳳から3駅目が信太山（しのだやま）駅です。
- 国道26号「池上町」交差点南西角
P普通車72台（無料）



早弥呼と出会う博物館
大阪府立弥生文化博物館
Museum of Yayoi Culture
指定管理者：大阪府文化財センター・近鉄ビルサービスグループ
〒594-0083 大阪府和泉市池上町4-8-27
TEL.0725-46-2162 http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/